

協定締結により四者で連携及び協力する取組例

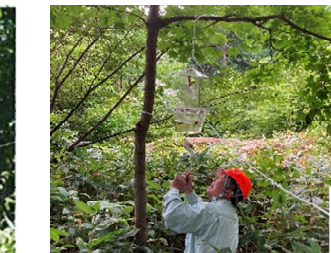
森林総合研究所北海道支所、林木育種センター北海道育種場、森林整備センター北海道水源林整備事務所及び林野庁北海道森林管理局が相互に連携協力を行い、地域の森林・林業及び木材分野の課題に取り組み、地域の振興に一層の貢献を果たすことを目的としています。

国有林フィールド、試料の提供

- 国有林が調査研究のためのフィールドや試料等を提供することで、研究機関の取組がさらに進展。



国有林内の研究機器の設置
(左：量水堰、右：降水量計)



ナラ枯れの原因となる
カシノナガキイムシ生息調査



林木遺伝資源
の収集・保存

調査・研究等の成果の共有、成果を踏まえた指導・助言

- 学術的観点から研究機関が国有林等に指導・助言を行うことで適切な管理経営に寄与。



委員会での指導・助言



被災箇所における指導・助言

人材の育成・確保

- 相互の講師派遣や研修・視察の受入れにより職員の人材育成に寄与。
- 教育機関に対し採用情報の共同提供により新たな人材確保に寄与。



研修講師として講義



研修の受入れ



学生に対する業務説明

調査研究、技術開発の成果の普及

- 調査研究、技術開発の成果を共同して発信することで情報発信の向上に寄与。



ホームページやSNSを活用した発信



広報誌を活用した発信

地域の振興に一層の貢献